

2018年12月11日

SDGsステークホルダーズミーティング

地域における新たな資金循環 ～コミュニティ財団・PSIを中心に～

深尾 昌峰

自己紹介をかねて

深尾 昌峰（ふかお まさたか）



龍谷大学 政策学部 教授

龍谷大学エクステンションセンター センター長

一般社団法人 全国コミュニティ財団協会 会長

株式会社 PLUS SOCIAL 代表取締役

プラスソーシャルインベストメント株式会社 代表取締役会長

経済財政諮問会議 政策コメンテーター

総務省 地域づくり懇談会 委員

東近江市 参与



連絡先：fukao@policy.ryukoku.ac.jp

本日のお話の柱～地域の持続性を高めるためのお金の流れ

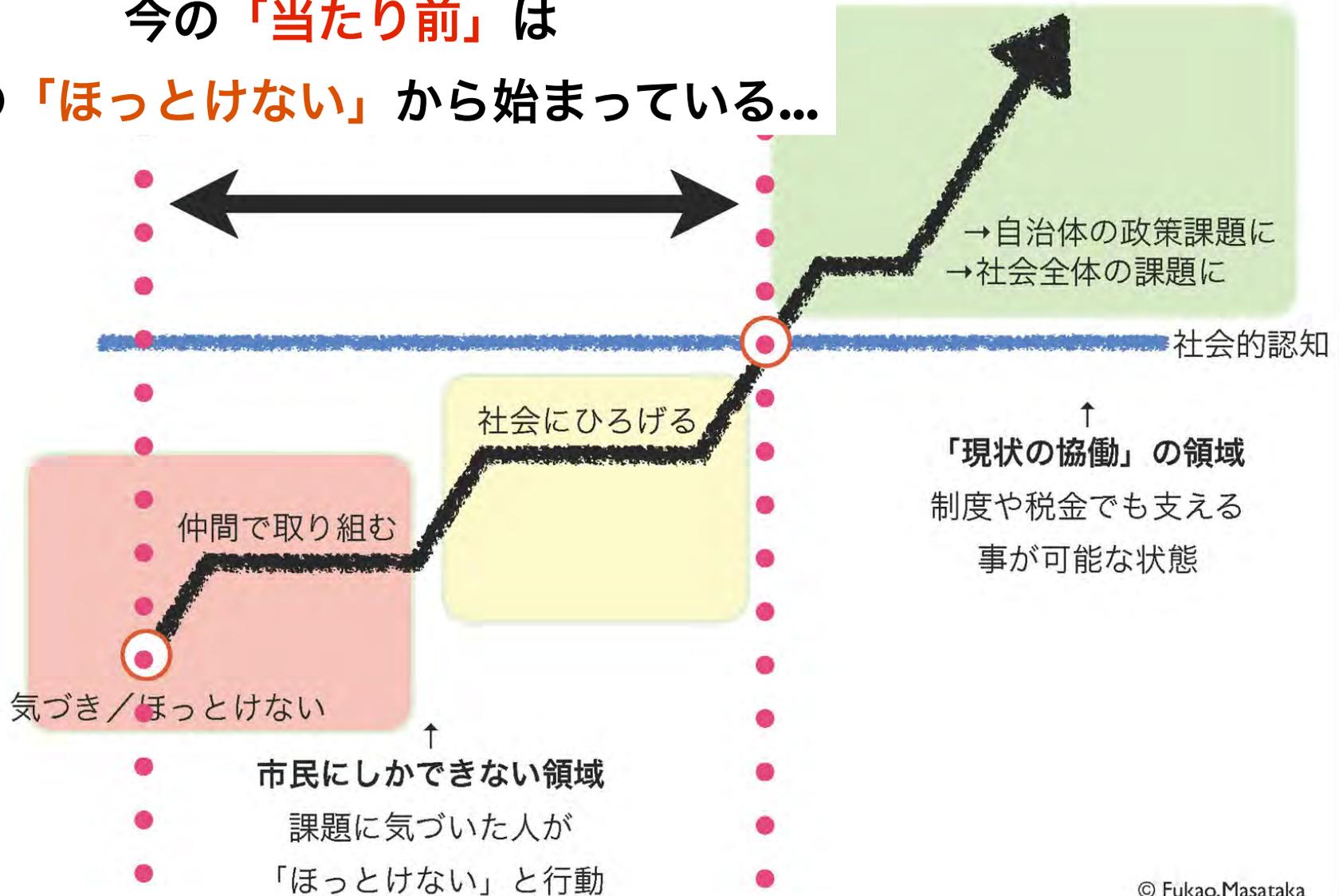
○我が国におけるコミュニティ財団の動き

- 一 寄付仲介を通じて、市民事業を支える
- 一 地域の課題を掘り下げ、課題解決のソリューションをつくる役割
- 一 資金を提供するチカラを用いた非営利セクターのキャパビル
- 一 **NPO**のみならず、地縁組織、企業への資金提供も可能な体制へ

○社会的投資とローカルファイナンス

- 一 社会的投資を地域にひきつけ、寄付・投資という参加を促す
- 一 地域金融機関と連携した、融資・域内投資を促す
- 一 プロトタイプ組成を通じて相転移モデルの確立

今の「当たり前」は
誰かの「ほっとけない」から始まっている...



地域による地域のための財団

課題を把握



- 地域の現状調査
- 当事者や支援へのヒアリング
- 問題構造の分析と原因把握

解決策を構築



- 分析に基づく解決のしくみ構築
- 多様な地域資源の巻き込み（円卓会議）
- ビジョンと目標の決定

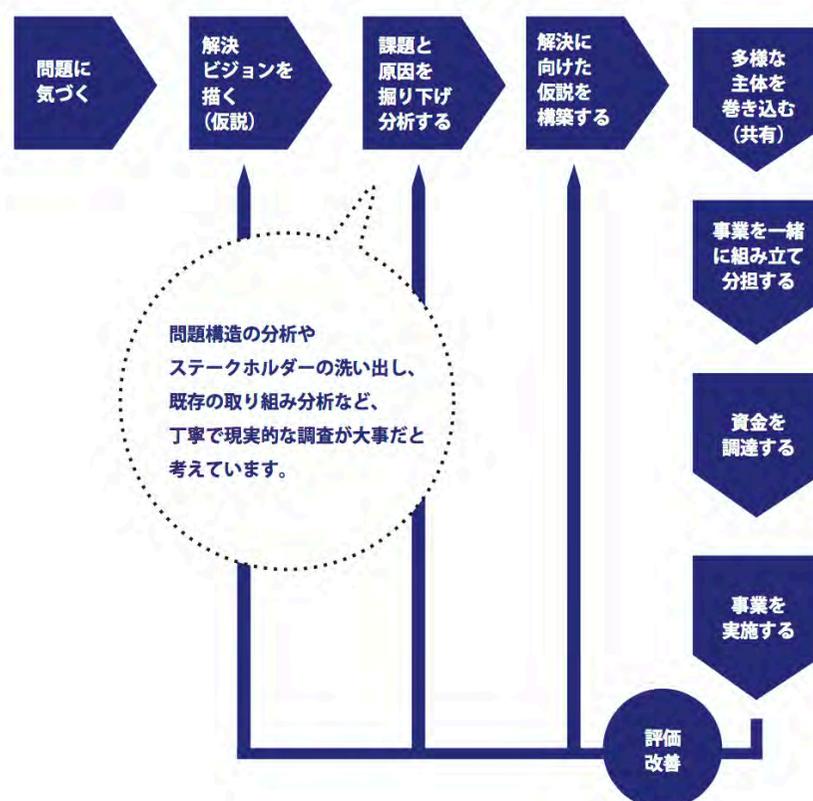
資金を核とした支援実行

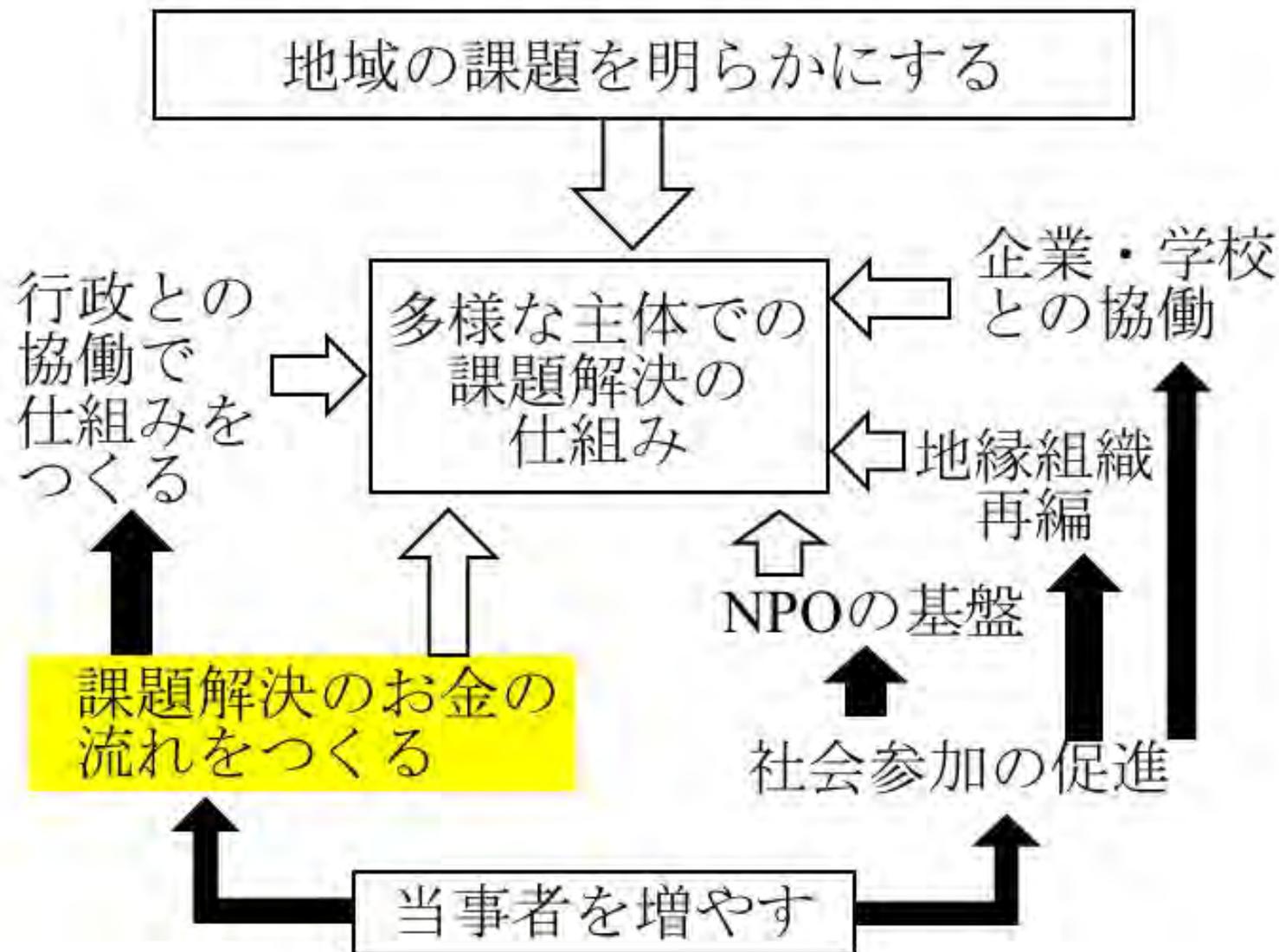


- 寄付募集・助成実行
- 応援・参加の促進
- 評価・改善

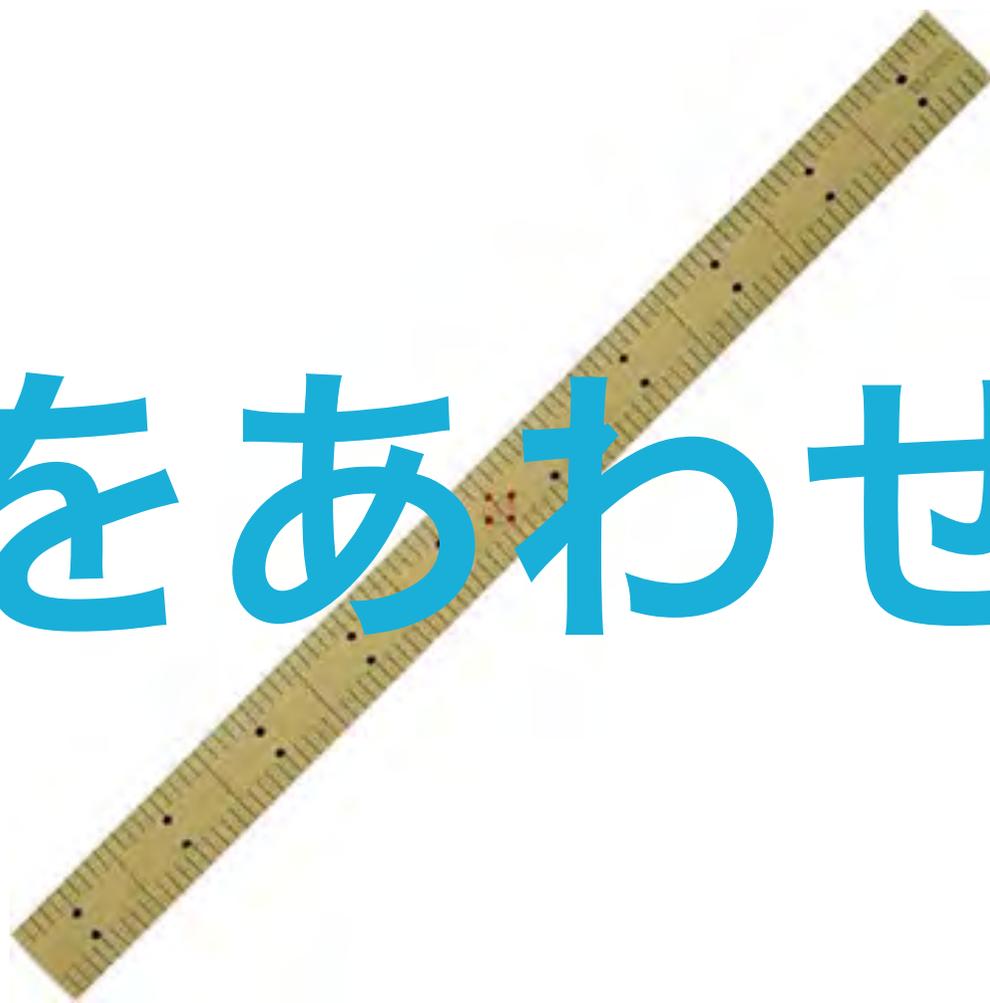
持続性を高めるために仕組みをつくる

- 活動を応援するのではなく、課題解決を実現する資金提供へ
- 地域の課題を掘り下げ、課題解決のソリューションをつくる役割
- 資金を提供するチカラを用いた非営利セクターのキャパビル
- NPOのみならず、地縁組織、企業への資金提供も可能な体制へ





尺をあわせる



社会的投資専門の金融会社の設立

プラスソーシャルインベストメント株式会社 龍谷大学LORCでの研究成果の実装化

地域が地域であるために ～社会的投資の仕組みを創り出す会社～

+ PLUS SOCIAL
Investment

お知らせ プロジェクト
アセット 会社案内 世間話 よくある質問

地域が地域で
あるために

— 社会的投資の仕組みを創り出す会社 —



地域をめぐる現状・課題

- (1) 人口減少に歯止めがかかっていない H22年より約100万人減少（国勢調査開始以来初の人口減少）
- (2) 東京一極集中が加速 東京圏への転入超過は12万人（4年連続増加）
- (3) **地域の経済の疲弊と地域での暮らしの持続性への危機感**
 - ・人口減少による公共サービスの縮小：一方で構造変化による「新たなる課題」の発生と山積
 - ・それら地域を脅かす課題に対する取り組みは盛んに（ソーシャルビジネスや中小企業の取り組み）
 - ・それらを社会的に支えて行く「社会技術」の欠如
 - ・地域の資金が域外に流出する構造から、地域で暮らしを支える事業に投資する構造の構築



地域の「お金」の流れを変える必要性

「社会的投資」を地域における成長戦略のベースとして活用

京都におけるチャレンジ

- (1) 地域の社会的投資を支えるために「**プラスソーシャルインベストメント株式会社**」の設立
地域のソーシャルビジネスや中小企業が取り組む、社会性の高い事業の証券化と販売
地域創生に真に必要な**事業案件の発掘や育成**し、イノベーションを促進
地域にある資金を活用した公共空間創造
ローカルベンチャーを対象とした投融資の実現
- (2) 地域の金融機関との積極的な連携
金融機関窓口で社会的投資商品を販売（2018年度試行予定）
- (3) 自治の仕組みを支える仕組みづくり
SIB（Social Impact Bond）などの手法を活用し、地域の補助金などを最適化
多くの住民の参加（社会的投資）によるまちづくり
ふるさと納税などとの接続検討

案件組成

2018年度試行

2016年度～試行
東近江市など

社会的投資のサイト「エントリー」



[トップページ](#)

[プロジェクトアセット一覧](#)

[ニュース](#)

[よくあるご質問](#)

[お問い合わせ](#)

[会員登録](#)

始める

en.try
[エントリー]

あなたの投資で創る未来

一般社団法人LVCについて

プラスソーシャルインベストメントが、**地域の持続性を高めるビジネスの萌芽期を支援**するために2016年8月に設立。2018年以降は金融機関などとも連携したファンドを組成し本格的に稼働。

これまでの主な投資先

(株) 革靴をはいた猫



障害者の新たな就労支援の場として「靴磨き」ビジネスを創出。これまで15000円だったメンバー月収を15万円に。

(株) はたけのみかた



有機野菜を活用したベビーフードの製造・販売をてがける。有機野菜の栽培農家とネットワークを組み販売。

(株) みんなの奥永源寺



日本で唯一栽培が行われている「紫根」を活用し、コスメを製造。地域ブランドとして販売。

中野ビレッジハウス



古民家をリノベーションし、地域ビジネスの拠点に。カフェや英会話教室などが多彩に開催。

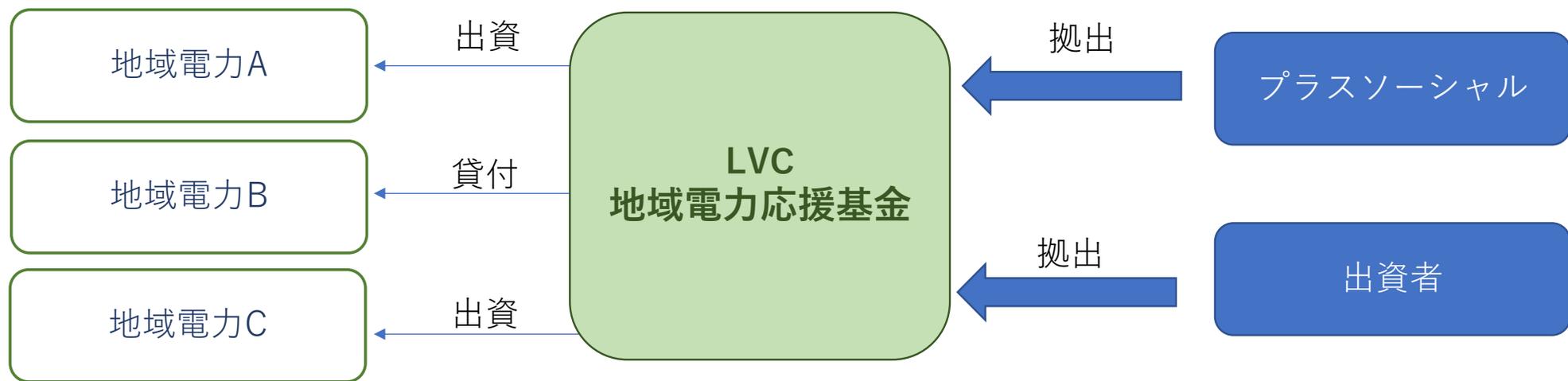
一般社団法人LVC

京都市上京区河原町通丸太町上る出水町284番地

代表理事：深尾 昌峰（プラスソーシャルインベストメント代表取締役会長）

地域電力応援基金スキーム

- 地域電力の立ち上げを支援するベンチャーキャピタル（VC）をLVCの中に基金設置（10年）
- VCは2020年までに20ヶ所の地域電力をインキュベート
- 地域電力は事前協議した期日に返済もしくは株式の自己買取を行う



2018年スタート：当初規模約1億円程度

龍谷フロートソーラーパーク洲本



- 所在地 洲本市中川原町三木田1242-1
(満水面積4.8ha)
- 設置規模 1,706kW
(出力1,500kW、設置面積1.8ha)
- 事業費 約7億円

域学連携モデル

- ✓ 地域金融機関と連携したモデルの構築
- ✓ 地域の資本の活用
- ✓ 公共財の維持モデルの開発

- 事業期間 21年
(設置・撤去期間含む)
- 年間発電量 約207万kWh
(約570世帯分の消費電力量に相当)
- 事業主体 PS洲本(株)
- 竣工 平成29年9月



地域における社会的投資の活用～PSIにおける案件組成

3 すべての人に
健康と福祉を



住民の健康を増進する取り組み
で社会保障負担軽減を（SIB）

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



再生可能エネルギーの普及
地域電力会社

8 働きがいも
経済成長も



障害のある人の仕事づくり
元受刑者の仕事づくり
ローカルベンチャー

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



事業承継と商業教育の接続
地場産業のインキュベート

11 住み続けられる
まちづくりを



住民出資型保育所
廃棄物の適正処理
地域交通の新たな展開
空き家の利活用

相 転 移

社会的投資が活きる地域社会に向けて

- 本気で社会変革を実現するユニットをつくりそこに資金を流そう
→地域金融機関との連携、コミュニティ財団のインパクト、地縁も、企業も
- 脱炭素型社会を形成するための社会技術としての社会的投資
- 地域の組織の変容（立ち位置の変化）を促す
→例えばローカルで頑張る企業と社会的投資の可能性：自治体と社会的投資
- 共通価値の多様な創造者を支えるエコシステムを
- 「あるもの」を活かす

お金の流れを変えることで社会変革を促す

「ローカル」を取り戻し安心した暮らしと生き方を地域で実現